太田道灌と荒川区

太田道灌像「回天一枝」

道灌は、江戸城を築いた人物として知られています。江戸城は今から五六〇年前の室町時代、長禄元年（一四五七）に築城されました。この頃、関東地方は内乱の時代を迎えていて、道灌は関東管領山内上杉氏を補佐した有力な一門・扇谷上杉氏に仕える武将でした。江戸城は、関東北部からの敵の侵入を防ぎ、関東一帯に勢力を広めるため、河越城（現埼玉県川越市）、岩槻城（現埼玉県さいたま市岩槻区）と共に重要な拠点でした。

荒川区には日暮里の道灌山、南千住の石浜城跡など道灌にゆかりのある地が多く存在します。道灌山には、山の上に出城があり、物見台が築かれたと伝えられています。隅田川近くにあった石浜城は、室町時代後半、道灌が庇護した武蔵千葉氏の拠城となりました。道灌は戦国時代初め、現在の荒川・台東・文京・北・豊島・板橋・練馬区周辺を治めていた豊島氏を滅ぼして、全てを支配下に収めるなど、約三〇年間続いた戦「享徳の大乱」でめざましい活躍をしました。

また、三河島には鷹狩りに訪れたと伝えられています。この頃の三河島は、大きな入江と芦の原っぱが広がっており、多くの野鳥や獣がいたようです。

道灌ゆかりの地マップ

荒川区には道灌ゆかりの地が多く存在します

あらみぃ　あら坊

日暮里道灌まつり

荒川区にゆかりのある道灌の魅力をより多くの方に知っていただくため、平成三十年から日暮里駅前イベント広場で開催しています。道灌ゆかりの地の自治体や店舗が出店し、ステージでは道灌に関連した催しを行います。

荒川区産業経済部観光振興課　TEL：03-3802-4689
荒川区ホームページ　http://www.city.arakawa.tokyo.jp/
令和元年 10 月発行　登録 (01) 0055 号